

土壌医検定 3 級合格体験記

— 花農家を目指して —

西 このみ*

1 土壌医検定を受けたきっかけ

私は、現在、宮崎県立農業大学校の花専攻で、日々実践的な学習に取り組んでいます。私の家は、非農家です。高校では農業について学ぶ機会が少なかったため、入学してからの授業や実習はとても新鮮でした。学校生活の中で、私が特に印象深かったのは、自分で行きたい研修先を選択し段取りをして一か月研修を行う、自主企画研修でした。

私が土壌医検定を受検したきっかけは、地元のバラ農家ででの1か月の研修でした。研修先では、土づくりについての独自の考えやこだわりを持ち、雑草の堆肥活用や米ぬかを発酵させた微生物資材を自作し利用するなど、循環型農業にも取り組まれている方でした。その農家の栽培における工夫や取り組みにとっても感銘を受けました。研修を通して土壌の状態、養分のバランスなど栽培において大事なことを学ぶことができました。

また、普段の授業の中でも土壌の成分や土壌状態が植物に与える様々な影響について学び、実際に自分自身の管理するハウスの土をサンプリングし、簡易土壌診断によって今のハウスの中の土壌の成分を知ることができました。そして今後の施肥設計について、診断結果を基に再検討して最適な栽培ができるよ

うになりました。

このような経験から、土壌のpHによって植物の成長が変化する事や土壌を改良する事は植物にとって良い事ばかりだということを実感することができ、土づくりや土壌について学ぶことが面白いと思いました。

そのようなときに先生から土壌医検定の受験についての呼びかけがあり、もっと土壌について知りたいと思い受験することにしました。



2 検定に合格するまで

この検定を受験する人のための検定に向けて勉強会が放課後に行われ、勉強会では、先生が教えて下さった要点を中心に、教科書を用いて効率よく学習しました。また、過去問を解いて間違ったところは解説を確認して見直しをしたり、対応する部分を教科書から探して読みなおしたりと検定に向けて自分なりに勉強に取り組みました。試験当日は、早めに起きて過去問を改めて解きなおし受験に臨みました。少し不安になりながらも解き終えることができました。そして結果は合格でした。合格と聞いて達成感と同時に頑張ってよかったと思いました。

*宮崎県立農業大学校



3 今後に向けて

この土壤医検定に向けた勉強をする中で、
土壌や肥料の成分について知識が増えまし

た。また、プロジェクト学習で育てている花
を管理する際に学習したことが役に立ってい
ます。これからも学習したことを学校での実
習や学習で活かしながら、今後の就職活動で
も受験の経験を自信に積極的にチャレンジし
ていきたいと思っています。

また、レベルアップして今年は土壤医検定
2級を受験しようと思っています。「土づく
りマスター」となって仕事にもより深い知識
を活用していけるように合格を目指して頑張
ります。

